

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 20 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 〒020-0632 滝沢市牧野林992-2

氏 名 株式会社藤原興業 代表取締役 藤原一樹

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 019-656-9102

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 藤原興業
事業場の所在地	岩手県滝沢市牧野林992-2
計画期間	令和4年 4月 1日 ～ 令和5年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

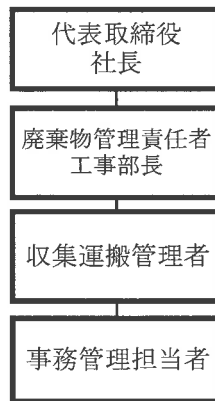
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	前年度売上2.5億円
③ 従業員数	11名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら → 中間処理業者(破碎・再生) アスファルトがら → 中間処理業者(破碎・再生) その他がれき、 → 中間処理業者(破碎・再生路盤材) 廃プラスチック類 → 中間処理業者(圧縮・破碎)→中間処理業者販売 紙屑 → 中間処理業者(圧縮・破碎)→中間処理業者販売 木くず → 中間処理業者(圧縮・破碎)→中間処理業者販売 繊維くず → 中間処理業者(圧縮・破碎)→中間処理業者販売 石膏ボード → 中間処理業者(破碎・再生)→最終処分場埋立 がれき類 → 最終処分場埋立 ガラス陶磁器くず → 中間処理業者(破碎・再生路盤材)→中間処理業

（日本工業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	2189.3 t	t
	（これまでに実施した取組） 令和4年度は木造解体工事から発生する廃棄物の主たる排出が要因となった。解体工事現場での排出抑制として雨や雪などで質量が増さないように、シートを被せるなどをし対策を行っている。		
②計画	【目標】（ 5 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排出量	2173 t	t
	（今後実施する予定の取組） 現場ではより一層分別作業に力を入れ再生利用へ目標を掲げる。雨天時に質量が増さないようにシートなどをかけるようにする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再生利用業者に中間処理委託している。金属くずは分別し有価物としている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、再生利用可能品の分別を行い再生利用業者への中間処理を委託する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない		
②計画	【目標】（令和 5 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
②計画	【目標】（令和 5 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
③現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
④計画	【目標】（令和 5 年度）実績】		別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分はしていない	
②計画	【目標】（令和 5 年度）実績 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら埋立処分及び海洋投入処分をする予定はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	2189.3 t t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t t
	再生利用業者への処理委託量	2084 t t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t t
	（これまでに実施した取組） 品目ごとに分別し可能な限り再生利用業者へ処理委託している。	

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	2173 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2070 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への処理委託の強化		
※事務処理欄			

備考

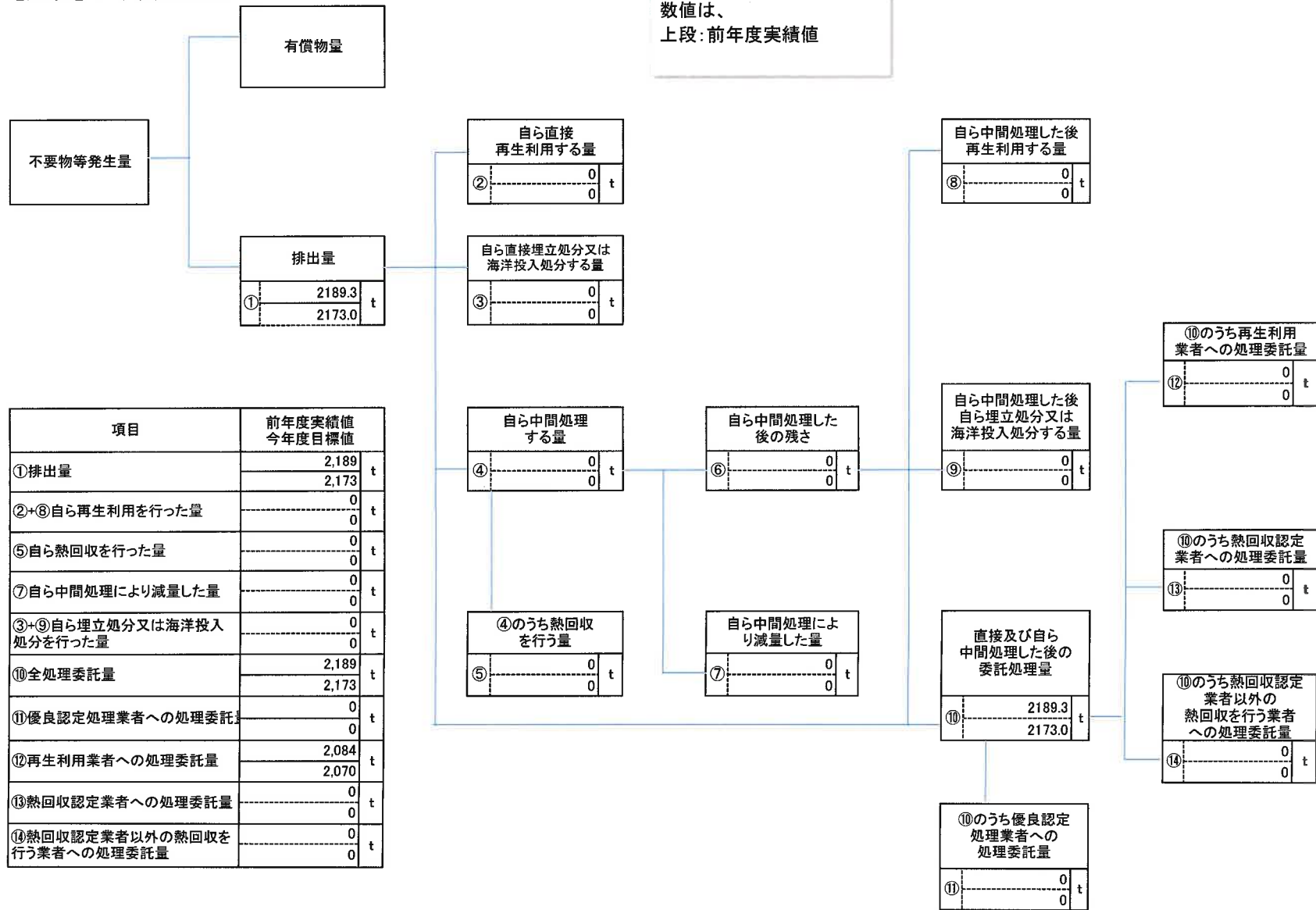
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

じ
中
間
量
行
収
あ
へ
と
の
入

(産業廃棄物の種類: 全体)

【別紙】今年度の計画

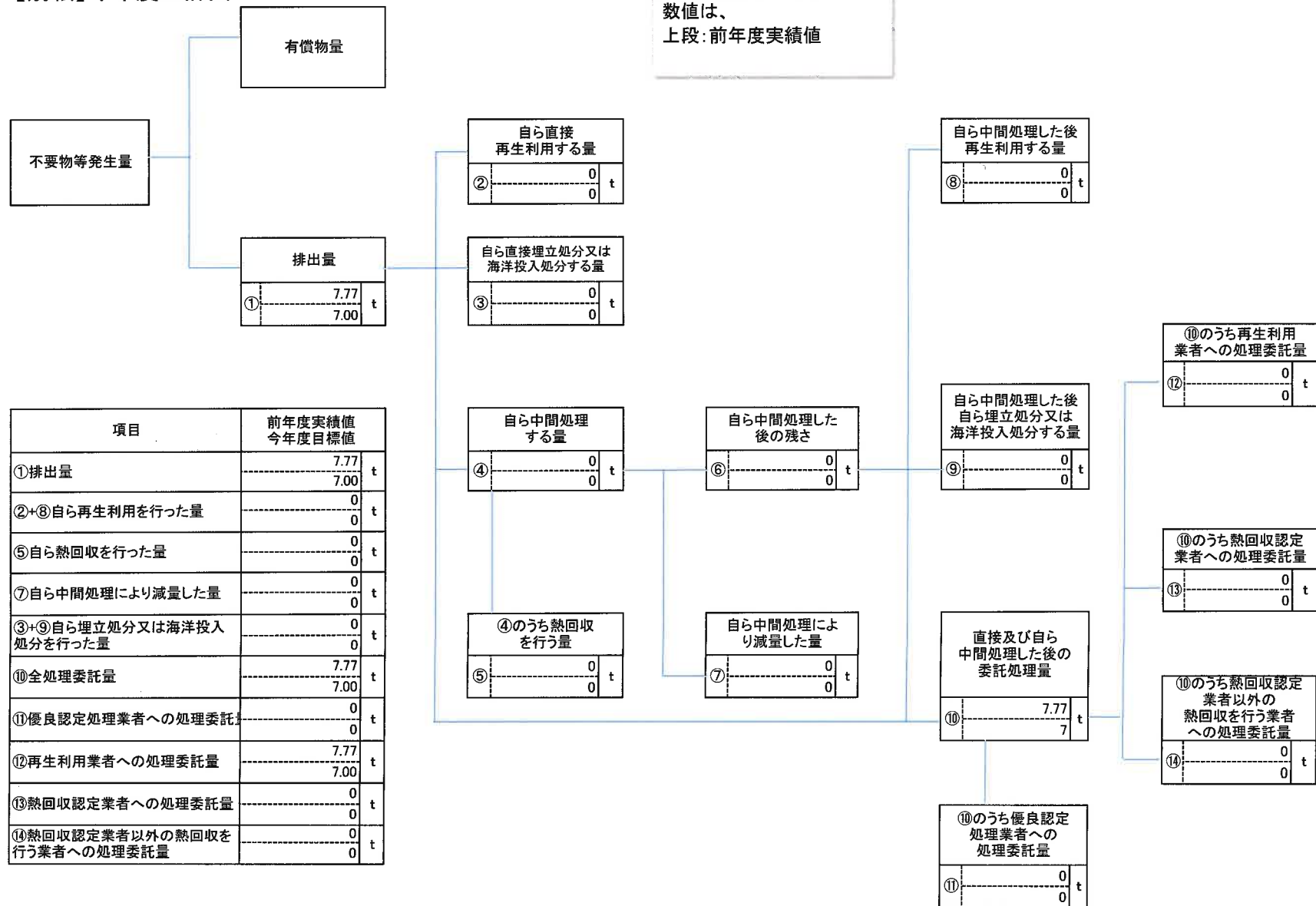
数値は、
上段: 前年度実績値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値



(産業廃棄物の種類: 紙屑)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	1.53	1.40	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩全処理委託量	1.53	1.40	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.53	1.40	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	t

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	1.53	t
	1.40	

自ら直接再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③	0	t
	0	

自ら中間処理する量

④	0	t
	0	

④のうち熱回収を行う量

⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した後の残さ

⑥	0	t
	0	

自ら中間処理により減量した量

⑦	0	t
	0	

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨	0	t
	0	

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩	1.53	t
	1.4	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪	0	t
	0	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

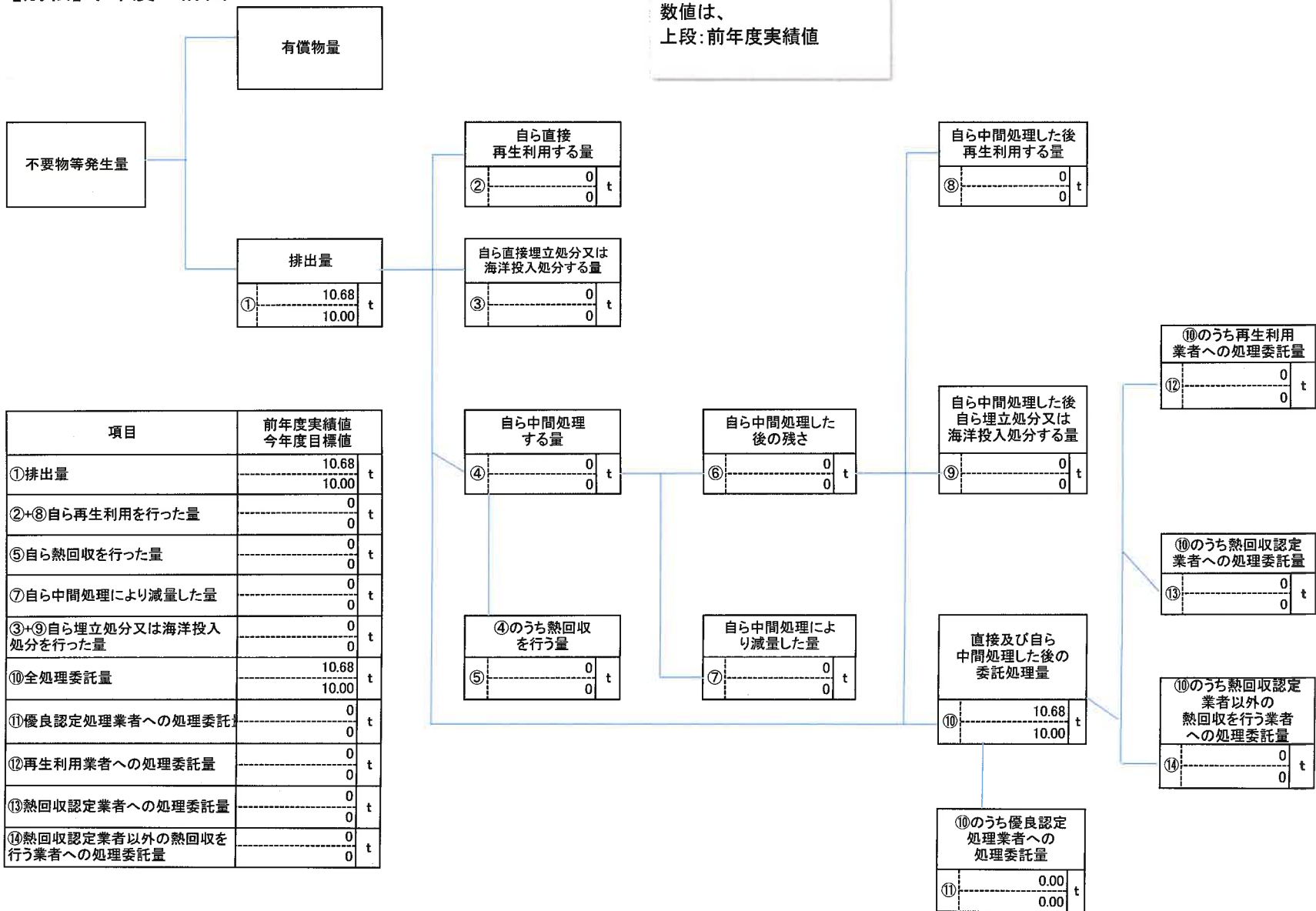
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭	0	t
	0	

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

【別紙】今年度の計画

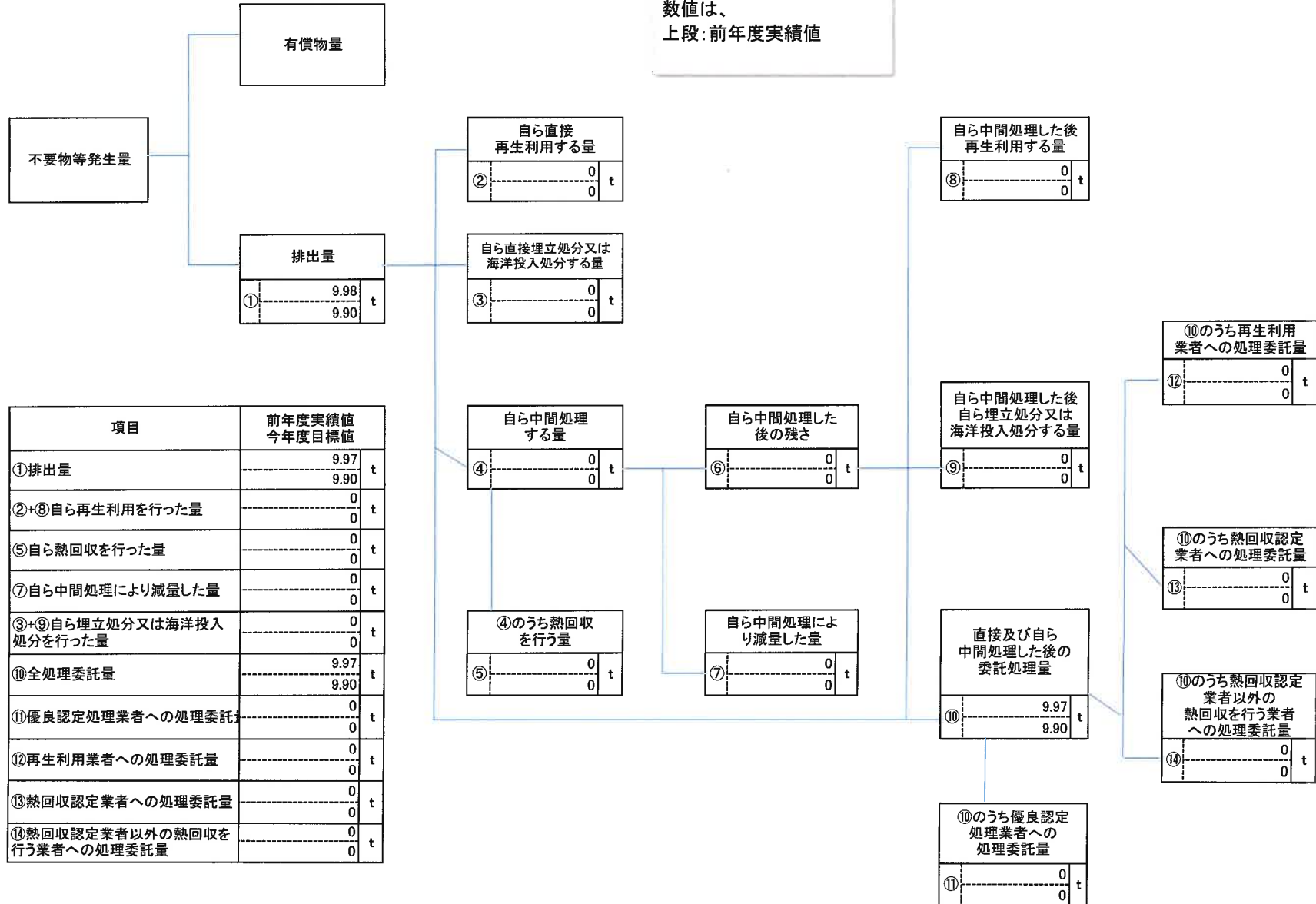
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: がれき類)

【別紙】今年度の計画

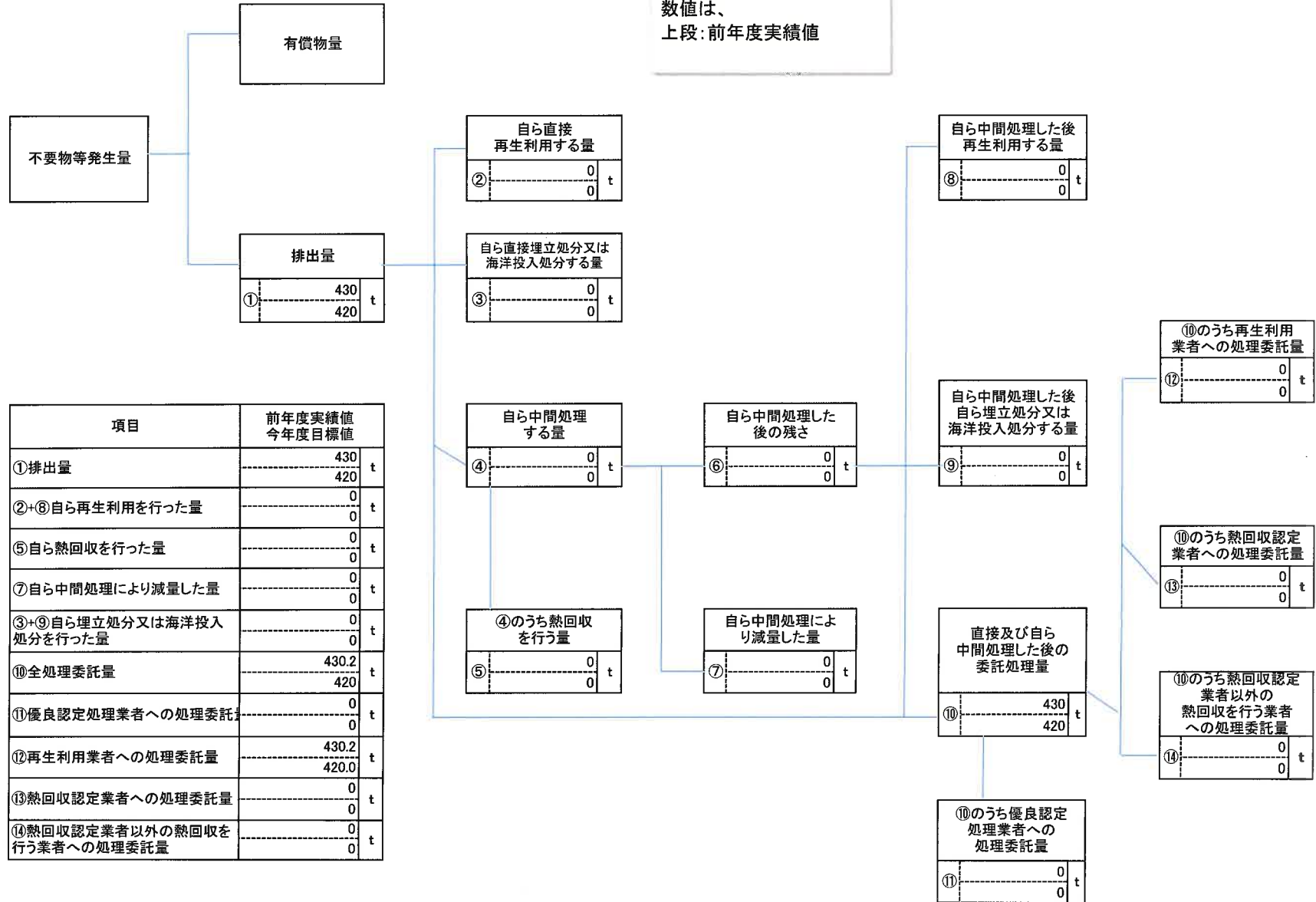
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

【別紙】今年度の計画

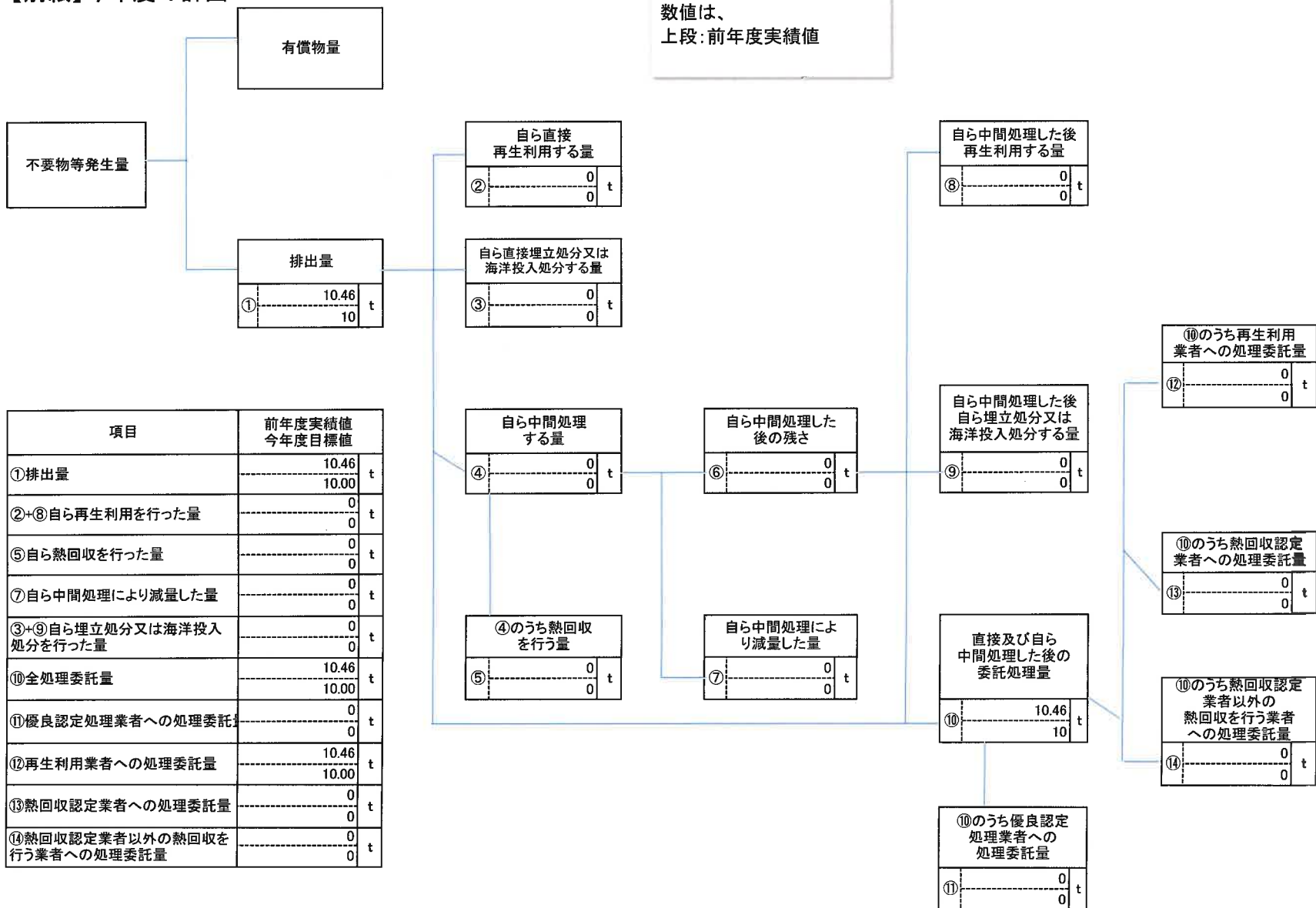
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)

【別紙】今年度の計画

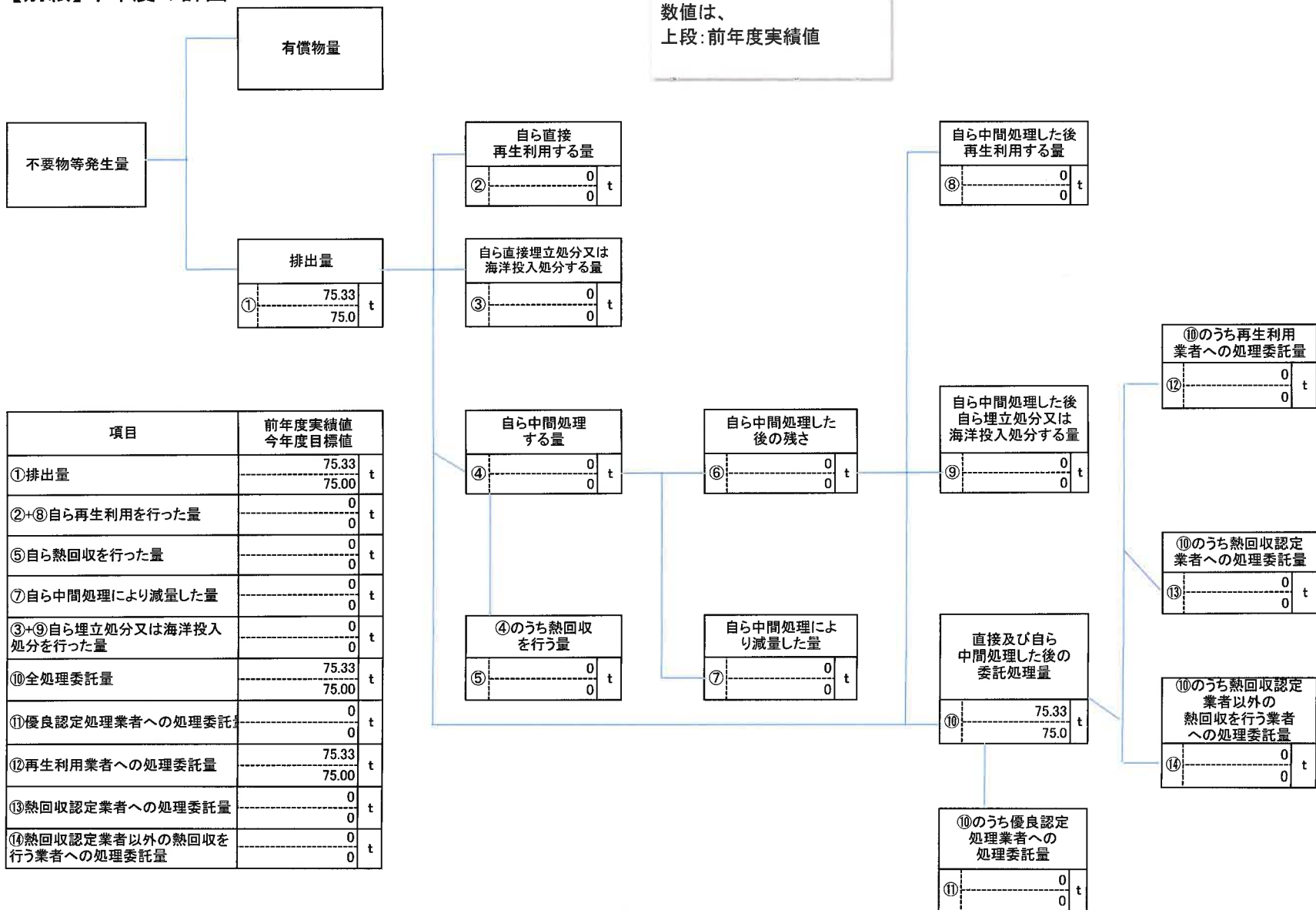
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度計画値



(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

【別紙】今年度の計画

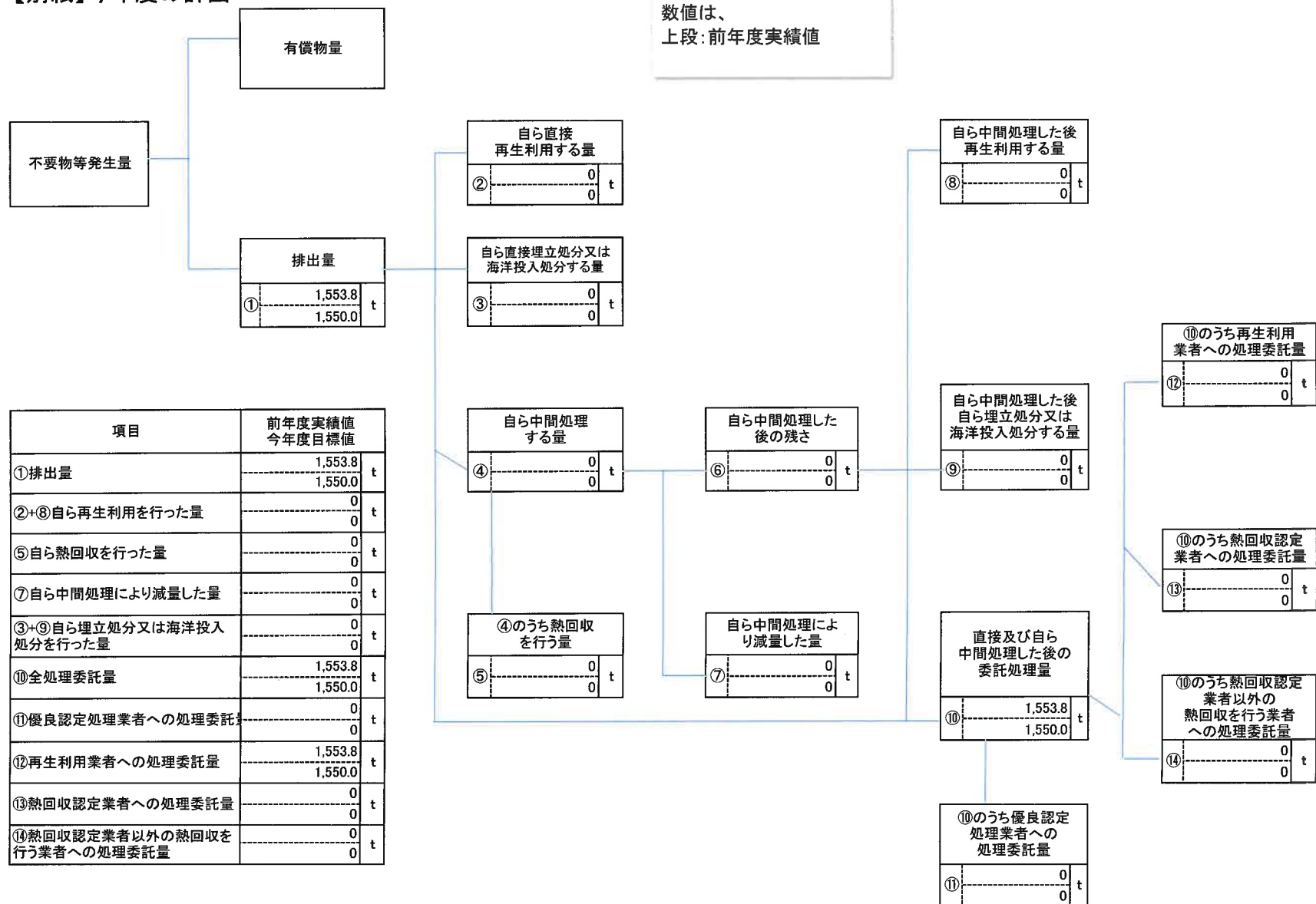
数値は、
上段: 前年度実績値



(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

【別紙】今年度の計画

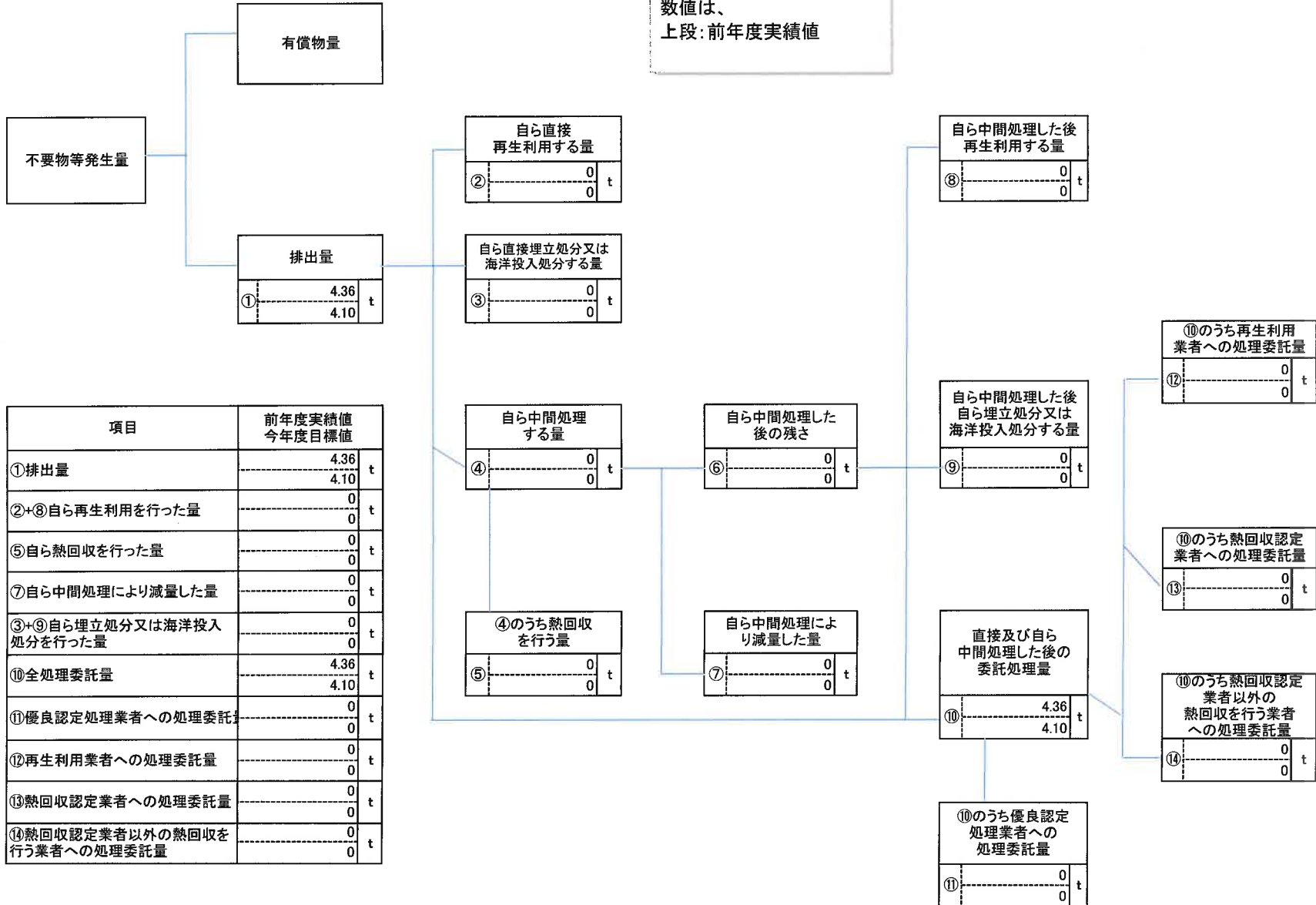
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 石綿含有建材(がれき類))

【別紙】今年度の計画

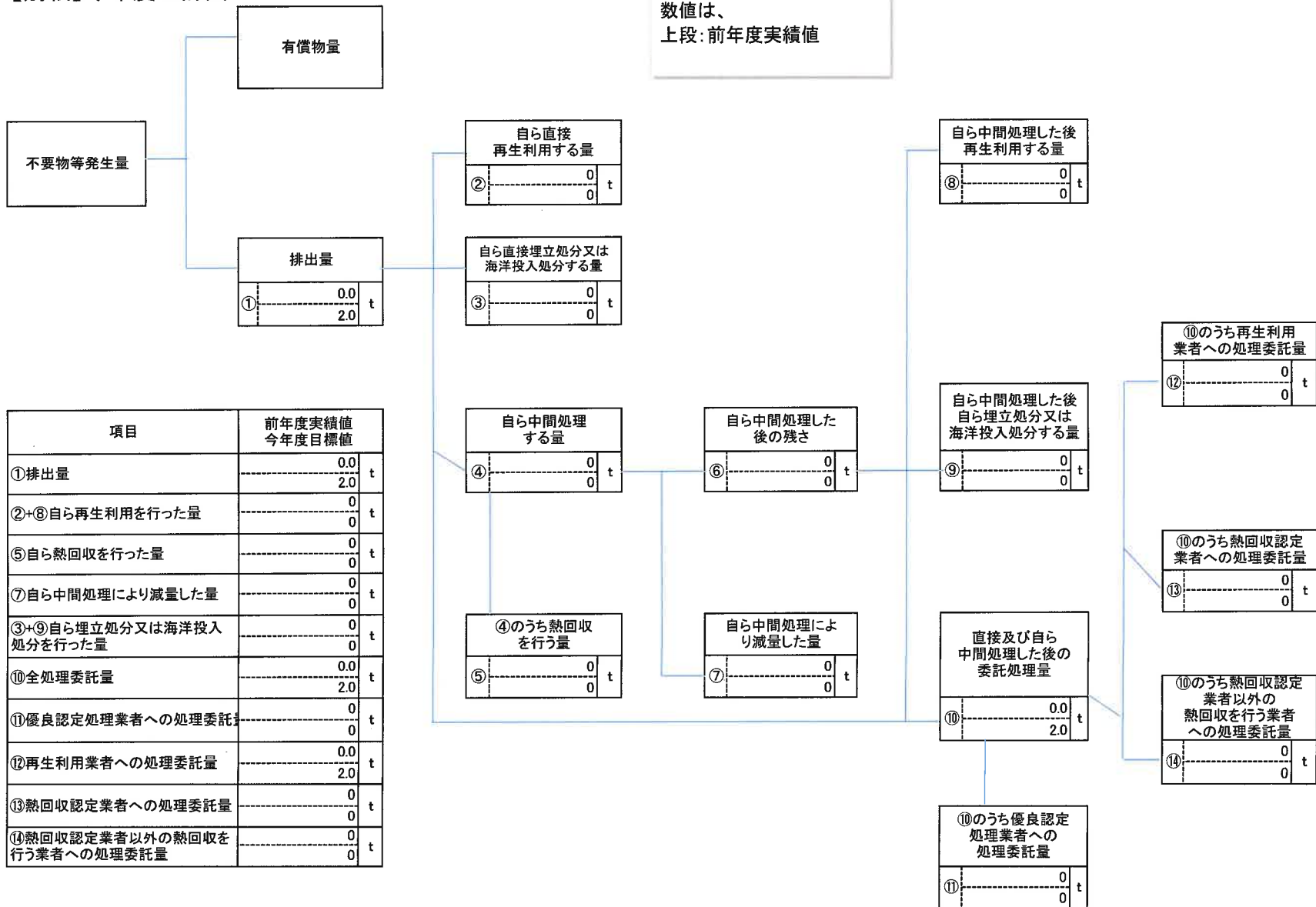
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

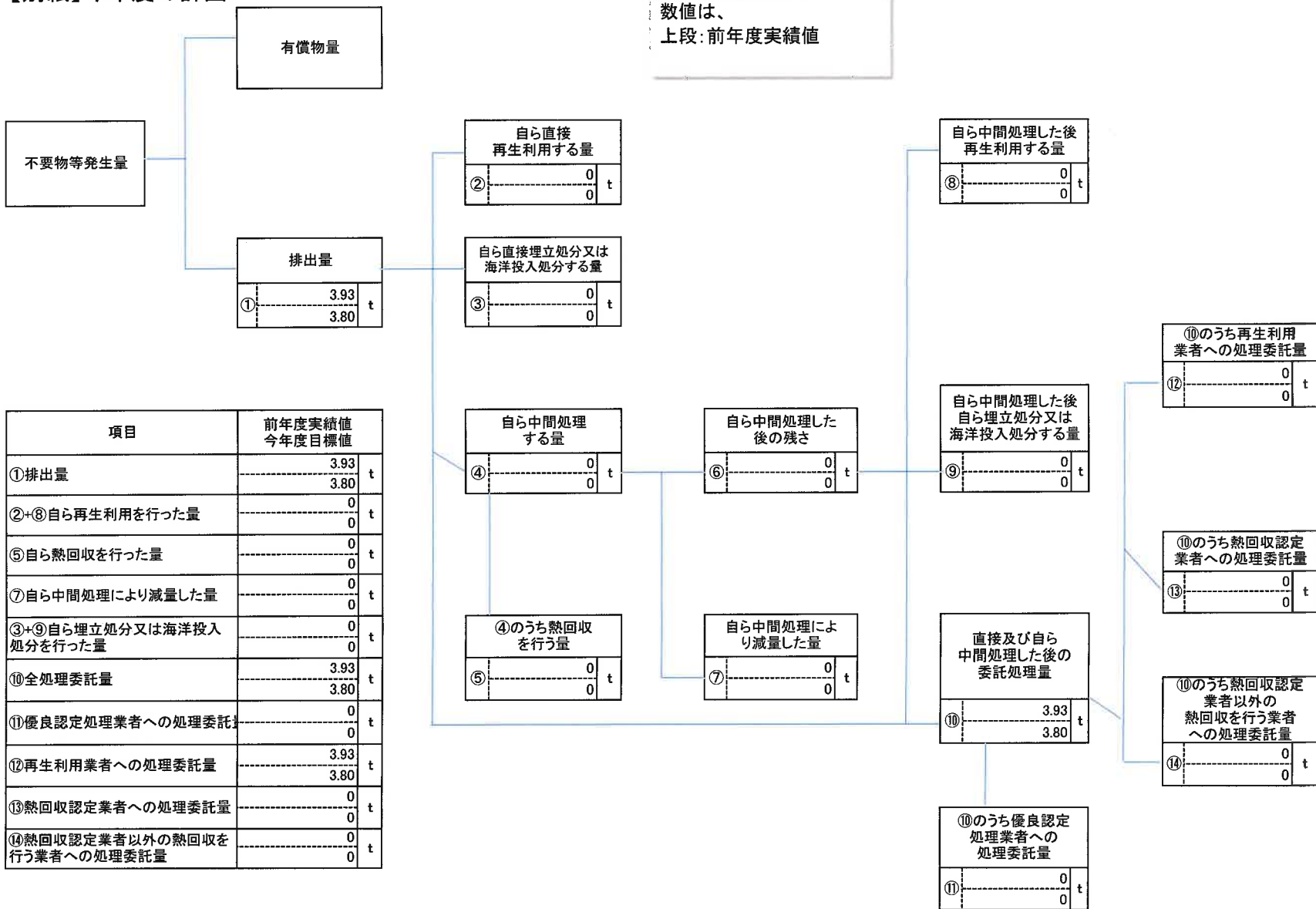
数値は、
上段: 前年度実績値



(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)

【別紙】今年度の計画

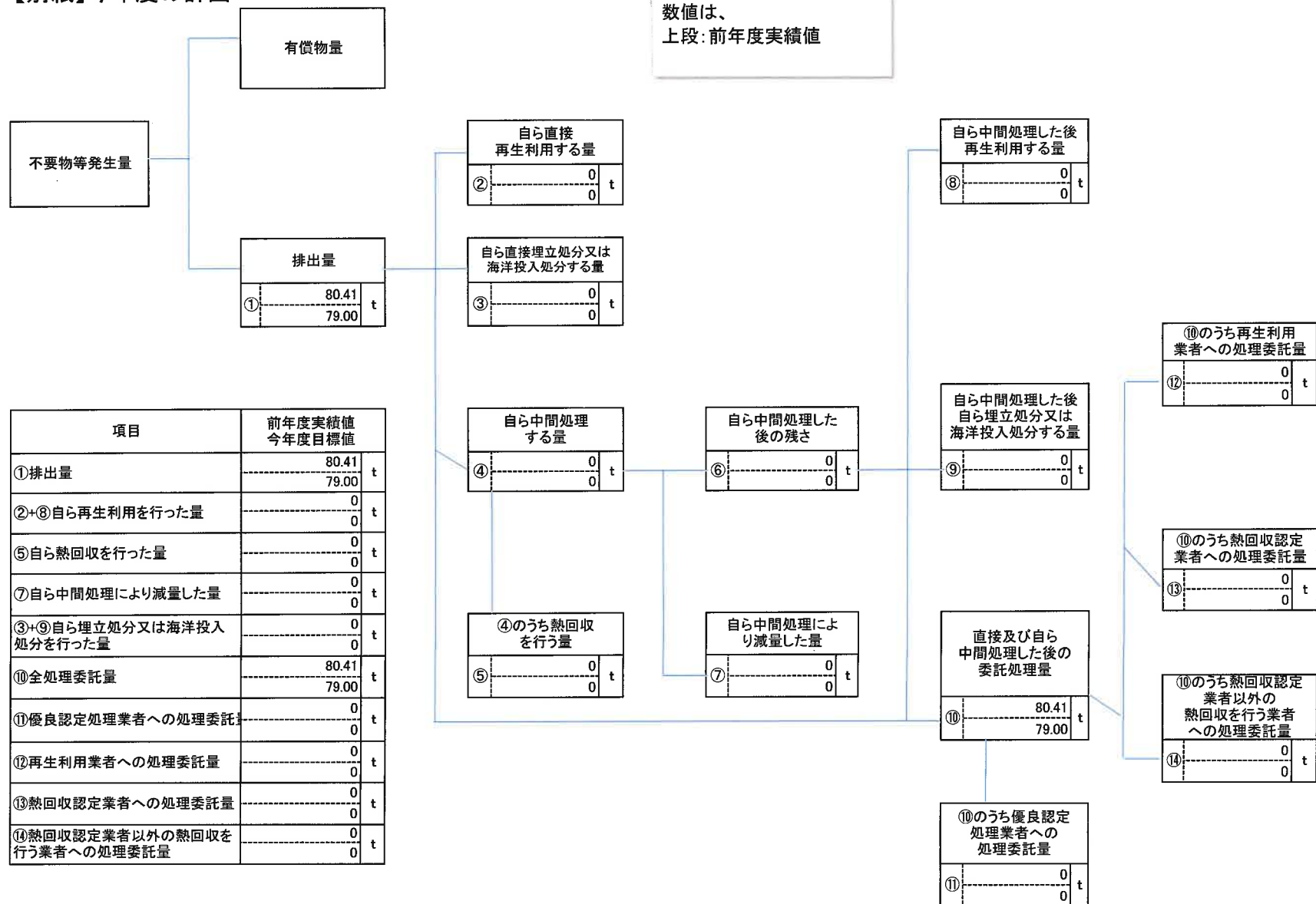
数値は、
上段: 前年度実績値



(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

